

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。



みかみのりこ  
三上 紀子 隊員 58歳 東京都から移住  
(令和4年9月1日着任)

ものづくりのまち「笠間」で  
まちの中に埋もれている景観や  
歴史的な場所を  
再発見・再発掘する  
活動に取り組みます。



笠間の自然と、ものづくりのまちに惹かれて移住しました



移住先の家の家庭菜園で  
かぼちゃを初収穫しました



趣味のマラソン。“楽しんで完走！”をモットーとしています

〈プロフィール〉  
9月から笠間市地域おこし協力隊に着任しました。もともと大学で住環境の整備や生活デザインを専攻し、卒業後は建築士として建築物の設計監理業務に携わってきました。その後、環境学を修めたことをきっかけに、地元の協議会や審議会でもちづくりの活動にも参加するようになりました。

〈これからの活動〉  
笠間市では、まちの中に眠る景観や歴史的建物、市民が大切にしている場所について、市民との対話を通じた再発見を行い、笠間の『生活文化』を『まちの資産』と位置づけて市民とまちを相互につながる活動を行います。

〈意気込み〉  
散策好きで、それが高じてポタリングが趣味となりました。まち歩きで見つけた心和む場所やスポットなどを知人とシェアするのが好きです。また、性格的には「人と会い」(話をし)「交流すること」が好きで、「人との交流の中から暮らしのヒントや、生活をより良く楽しくするアイデアが生まれてくる」というのが信条です。

ものづくりのまち笠間で、まちの魅力やまちの物語を発見し、「まちあるき」やワークショップをとおして、世代を超えたまちの継承を推進していきたいと思っています。

市民の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

問 企業誘致・移住推進課 (内線592)



フェイスブックも  
ご覧ください